

ありがとう

「二十一世紀に 生き生き生きる
経営基盤創り。」



●5月例会ご報告
●討議会の報告

2015.5
VOL.43

発行責任者/山田 淳二 西岡 伸悟

5月例会ご報告

2015年5月29日(金)

於：(株)日本創造教育研究所 広島営業所

企業体質を一新した「感動と喜びの経営理念」**「広沢母校」日本一心暖かい自動車学校を目指して**

株式会社広沢自動車学校 代表取締役 祖川康子 氏



昭和37年創業。今年で53期になられる株式会社広沢自動車学校。平成16年に実父より経営交代をし、平成26年には、経済産業省「おもてなし企業選」として全国から22企業の中に出選された。激戦の中、価格競争に陥ることなく、顧客のニーズに合致したサービスを継続的に提供し、「顧客」のみならず「社員」、「地域・社会」から愛される経営を実現している企業として厳選された全国有数の企業です。さらに人口減少が続く中、徳島市内の競合9社中「普通自動車通学入学者数1位」の成績を築きあげられました。

経営者としては11年目です、と語り始められる祖川康子社長。普通の専業主婦から経営交代をされてからほんの数年间で「経営理念」を社内一丸となり心から受けとめ劇的に企業体質を一新されました。平成16年経営交代。しかし、経営悪化・入校者減少・競合多数の中、何から手をつけていいかわからない状態でした。まずは、組織化、短期スケジュール、社内IT、成果主義、営業活動の拡大を集中的に取り組みましたが、「成果主義」を取り入れたことで、理想とはかけ離れた結果となり始めていきました。平成19年に方向転換。平成20年から「経営者・管理職社員」共に日創研/社員研修・幹部研修へ積極的に参加。この研修に参加したことが現在の「広沢母校」「日本一心暖かい自動車学校」の基礎づくり。「お金を追う経営」から「心の経営」へ経営者と社員が意思疎通をし、お客様に喜んでいただき、その代償として対価を得る。「物売る」から「心を伝える」への大変換です。

そして、平成21年に祖川康子氏は、代表取締役社長に就任となります。社内一丸となり、自主的に活動する体質が「感動と喜び」のサイクルを回し、さらにその回転速度を

上げていくことにより「感動と喜び」が外へ外へと広がり「広沢母校」が、深く浸透していています。

～理念を体感できる、最強の組織創り～

「故郷」で働き、「地域」に貢献し、「親から伴侶」「子供」を愛し、「人から尊敬される」生き様を世に広げていく。心温まる家族のような会社として、信頼できる社員教育にも力を注がれています。

自分の考えとは、違う受け止め方をされる
人は、教えたように育つのではなく関わったように育つ
関わりの場をつくる それが経営理念「広沢母校」



広沢自動車学校は、教習料金の提示ではなく、これから免許を取得し社会の一員としてスタートしようとするお客様へ、人生の一ページに広沢自動車学校に通ったことを一生の糧となる貴重な時を「感動と喜びを心に刻んでいただきたい」という思いが、**企業体質を一新し「感動と喜びの経営理念」・日本一心暖かい自動車学校を目指し「広沢母校」**を生み出されていきました。

経営理念・経営指針の浸透は、企業も人も大胆に短期間に変革と成果を生み出す大事な柱であることを教えていただきました。
(株)口カヒ 土谷典子

討議会の報告 5月12日(火)

今回は会員23名オブザーバー8名の参加で行いました。連休後で会員の出席が少なかったです。鍋島さんの社員さんが5名参加で会を盛り上げていただきました。色々な人との組み合わせで、いろいろなスタイルのグループが出来、それぞれに個性があり学びがあります。本を読んでもなくても何とかあります。まずは参加してください。

理念副委員長 細土 討議会の日程：7月9日(木) 19時より